

湘南地区連 3 回目の道路実態調査を 5/11 (火)、望月事務局次長と実施して参りました。

前回 4/24 (土) の第 4 回役員会で、「県道 22 号線 夏苧交差点から新東山田交差点間」(藤沢市 用田バイパス) の調査報告をしましたが、役員の方から再調査の依頼もあり、今回再々調査となりました。

実際 1 回目・2 回目と調査した際に、調査場所を間違えていたことが判明・・・(申し訳ない)、今回調査した脇道では、確かにトラックの右折は見受けられたものの、その先には倉庫やトラック駐車場があるなど、諸事情もありました。また道幅に関しても特段狭いわけでもなく、「危険」という感じはありませんが、やはり信号機のない場所でのトラック右折となると、後続車の渋滞に繋がります。「右折は信号機のある交差点で！」このマナーを守ることが出来れば、問題ないのかと思います。

湘南地区連では道路調査や喫煙所調査と幅広く取り扱い、藤沢市 市議会議員の大矢氏と連携して地域改善に取り組んでいますが、行きつくところは個人的な「マナーを守る」「ルールを守る」が大切だと思います。

丸全昭和運輸労働組合 萩原 和彦

本日は、早朝から萩原議長と道路調査を行いました。

実は 3 回目の調査場所になります。ご指摘いただいた場所は、藤沢市のいすゞ自動車北門周辺。40 分間現地に留まり調査した結果、指摘の場所の先には同業社がありトラックの出入りがありました。いすゞへの納入車両は 1 台！4 トン車でしたが特段の危険は感じられませんでした。しかし、強引な右折、たまたま歩行者がいたため本線をふさいでしまう光景を目撃しました。また、右折待ちをするのに本線上に 30 秒とどまっていることから後続車の渋滞が気になりました。

県連 望月 博巳

